

第6学年竹組算数「単位量当たりの大きさ」略案

指導者 笹木幹子

1. 日 時 6月12日(月) 9:20~10:05

2. ねらい ○異種の2つの量が異なる場合の混み具合の比べ方を理解する (1/16)

3. 本時の実際

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センター先生の支援	備 考
9:20	1. 本時の課題をつかむ。 面積も人の数も違う時の混み具合を比べる方法を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 面積が等しく、人数が違う生活場面の写真を提示し、どちらが込んでいるか問い合わせ、「混み具合」を比べる勉強をすることを意識づける。 ウを出したところで、なぜ、悩んだのか問い合わせ、課題を焦点化してめあてを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中から、混み具合を調べる場面の問題を提示する。 ア 面積が等しくて人の数が違う イ 面積が違って、人の数が同じ ウ 面積も人の数も違う この3通りを順番に提示し、本時はウの場合について比べ方を考えるようにしていくようとする。 (ア、イについては、子どもたちが答えた後、単位量あたりが意識付けられるように、点線で区切りをつけて見せて頂きたい。) 	
9:30	2. 自力解決をする。	<ul style="list-style-type: none"> 期間支援と考え方のチェックする。 ①困っている。→どちらかにそろえることを気付かせる支援をする。 ②人数をそろえている。 ③一人分の面積を考えている。 ④面積をそろえている。 ⑤1m²の人数を考えている。 		
9:40	3. 解決方法について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ①の子から困っていることを話して、スタートするようにする。 話し合いの最後に、3つ以上の場面を比べる例を出し、どんな場合でも使える方法はどれか考えるようする。 		
9:55	4. 課題についてまとめる。 混み具合を調べる時的方法 ①1m ² あたりの平均の人数を調べて比べる ②1人あたりの平均の面積を調べて比べる	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちからまとめる言葉を発表するようにし、「～あたり」という言葉に置き換えて、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題の図を提示しながら、まとめをプレゼンで提示し、最後に、「単位量あたりの大きさ」という言葉を子どもたちに知らせる。 	
10:05	5. 本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを机間指導し、発表者を選ぶ。 		